



寄稿 マレー半島でバスに乗る

3年前にマレーシアに行きました。長女が留学していたので、顔を見がてら、案内役を押し付けたのです。私はあの便利な「パック旅行」というやつが大嫌いなので、格安航空券(マレーシア航空)+鉄道・バス+安宿です。

1日目。国際空港からクアラルンプール市内へは、直通のコミュニティが走っています。新しく快適。モノレール(これも新しい)に乗り換えてホテルへ。非観光客向けホテルにしてはまあまあです(ということは、2日目以後にわかったのですが)。一息ついてから近くの夜店へ。

マレーシアは、最近めざましく経済成長していて、東京オリンピックころの日本でこんなだったんだろね。新しいものはどれも新しくて(アタリマエだ)近代的。でも画一的。一方で、新しくないものがあちこち残っていて、そっちが活気満点で魅力的なのです。

新しくないほうの代表が「夜店」(としか日本語じゃ言いようがない)です。

商業地は夕方が近づくと道路にいろいろ並びはじめ、並び終わると歩道はすれちがうのがやつの状態になります。法律的にどうなんかなこれ(日本で許可なしにやると道路法違反)。

私が行ったのはラマダン(イスラム教の断食期間。昼間は飲食厳禁)の真っ最中で、ちゃんとメシを食べられるか不安だったのですが、心配無用でした。マレーシアはマレー系(ムスリム)60%、中国系(宗教不明)30%、インド系(ヒンドゥー)10%の多民族国家で、(経済好調だから?)宗教的に寛容なので、ムスリム以外は好きにやれるのです。

この夜店の「バクテー」が絶品。端肉や臓物をスパイス・タマネギ・乾燥果物・ゆで卵などと一緒に煮込む、真っ黒な汁のマレー/中華風「煮込み」です。むかし中国系の錫(しゃく)鉱山

労働者が余りモノを煮込んで作ったのが始まりとか。現地のスーパーで「バクテーの素」を売っていて、帰ってから作りましたが、やっぱり現地のあのプクの味は出ませんね。

さて、2日目はバスで遠出です。

マレー2日目。マラッカに行きます。

マラッカはクアラルンプールから南に200km。マラッカ海峡に面する古い港町です。1400年ころ建国のマラッカ王国の首都。海峡経由の東西交易のカナメとしておおいに繁栄。1513年ポルトガルが占領。1641年オランダが占領。1800年ころイギリスが占領。この間マレー人の...

(この旅行記、まだまだ続くのですが今月は紙面の関係でここまです。) 今月は岡山市長選挙があります。路面電車環状化、吉備線のLRT化、人優先のまちづくり。みなさんの思いを込めて一票を!